

2020年度 理工学・工学研究科「教育・研究等改善アンケート」結果(博士前期課程)

No.	設問文	項目名									
		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	専攻を選択してください。	A. 理工学研究科 機能システム	B. 理工学研究科 生体医工学	C. 理工学研究科 電気電子情報	D. 理工学研究科 応用化学	E. 理工学研究科 都市環境デザイン	F. 理工学研究科 建築学				
		31	20	11	21	7	30				
2	学年を選択してください。	A. 1年生	B. 2年生								
		67	53	0	0	0	0	0	0	0	
3	本研究科を志望された理由を1つ選択してください。	A. 研究内容にもともと 関心を持っていたから	B. 研究科・専攻のシラ パスを読んで面白そう だと思ったから	C. 担当教員に教わり たいから	D. 将来就職など役に 立つと思ったから	E. 教員に勧められた から	F. 親に勧められたから	G. 先輩に勧められた から	H. 友達が進学するから	I. なんとなく	J. その他
		60	6	22	26	3	2	0	1	0	
4	大学院進学を考えるのにどのような情報が一番役立ったか、1つ選択してください。	A. 大学院ウェブサイト	B. 入試案内	C. 研究室教員の紹介	D. 学内掲示物	E. 就職支援室	F. 一般の本・雑誌	G. その他			
		28	12	51	2	1	1	25	0	0	
5	大学院進学を決めた(思い立った)のはいつですか。	A. 大学入学前	B. 学部1年	C. 学部2年	D. 学部3年	E. 学部4年	F. 大学卒業後				
		13	5	8	43	45	6	0	0	0	
6	演習(輪講等)の時間以外に、当セメスタでこの演習のために一週間に平均してどれくらい勉強しましたか。	A. 2時間以上	B. 2~1時間	C. 1時間~30分	D. 30分以下	E. 特にしない					
		90	19	6	3	2	0	0	0	0	
7	この演習(輪講等)は主にどのタイプの演習(輪講等)でしたか。	A. 非対面のみ	B. 対面と非対面の組 み合わせ	C. 対面のみ							
		43	69	8	0	0	0	0	0	0	
8	この演習(輪講等)は7で選択したタイプの対応で適切でしたか。	A. 適切だった	B. どちらかといえば適 切だった	C. どちらともいえない	D. どちらかといえば適 切ではなかった	E. まったく適切ではな かった					
		87	22	8	3	0	0	0	0	0	
9	指導教員は意欲的に演習(輪講等)を指導していましたか。	A. たいへん意欲的 だった	B. どちらかといえば意 欲的だった	C. どちらともいえない	D. どちらかといえば意 欲的ではなかった	E. まったく意欲的では なかった					
		94	19	5	1	1	0	0	0	0	
10	指導教員は院生に演習(輪講等)への積極的な参加・発言を促していましたか。	A. 十分促していた	B. どちらかといえば促 していた	C. どちらともいえない	D. どちらかといえば促 していなかった	E. まったく促していな かった					
		91	25	2	1	1	0	0	0	0	
11	この演習(輪講等)は、教員や院生同士の意見交換、発表、討論等により、活発な演習だったと思いますか。	A. たいへん活発だった	B. どちらかといえば活 発だった	C. どちらともいえない	D. どちらかといえば活 発だった	E. まったく活発ではな かった					
		58	46	11	4	1	0	0	0	0	
12	この演習(輪講等)の進み具合は適切でしたか。	A. 非常に早かった	B. どちらかといえば早 かった	C. 適切だった	D. どちらかといえば遅 かった	E. 非常に遅かった					
		23	18	77	2	0	0	0	0	0	
13	この演習(輪講等)の内容は理解できましたか。	A. 良く理解できた	B. だいたい理解できた	C. どちらともいえない	D. あまり理解できな かった	E. 理解できなかった					
		58	54	8	0	0	0	0	0	0	
14	この演習(輪講等)に参加することで、何を一番身につけることが出来たと思いますか。	A. コミュニケーション能 力	B. プレゼンテーション 能力	C. 日本語の表現力	D. 調べ学ぶ能力	E. 文献の読解力	F. 専門的知識	G. 論文・報告書・レ ポートの作成能力	H. 基本的なものの見 方・考え方	I. 特になし	J. その他
		12	28	6	25	9	32	1	6	0	
15	この演習(輪講等)に参加することで、知的満足感を得ることができましたか。	A. 大いに得られた	B. どちらかといえば得 られた	C. どちらともいえない	D. どちらかといえば得 られなかった	E. まったく得られな かった					
		66	44	8	2	0	0	0	0	0	
16	研究を進めるに当たり、研究室・実験室の実験機器やPC等は充実していますか。	A. 充実している	B. まあ充実している	C. どちらともいえない	D. どちらかといえば不 足している	E. 不足している					
		52	46	11	7	4	0	0	0	0	
17	今年度の学会発表回数(ポスター発表含む)は何回ですか。(※本人が発表しない参加は除きます。)	A. 5回以上	B. 4回	C. 3回	D. 2回	E. 1回	F. 今年度は無し				
		3	1	5	10	35	66	0	0	0	
18	今年度の論文採録数は何本ですか。(※ファーストオーサー以外も含みます。投稿数ではありません。)	A. 3本以上	B. 2本	C. 1本	D. 今年度は無し						
		5	2	13	96	1	3	0	0	0	
19	今年度の学会発表・論文採録を通じて、受賞はありましたか。	A. 2回以上	B. 1回	C. 今年度はなし(発表や 投稿をしていない場合も含 む)							
		4	3	109	2	0	2	0	0	0	
20	研究発表奨励金で学会発表へ行った際、交通費と宿泊費と学会参加費を足した金額は奨励金で賄えましたか。	A. 今年度の現時点で奨 励金制度を活用してい ない	B. 受給額の2割以上 余った	C. 受給額の1割~2割 余った	D. ほぼ同額(±1割以 内)だった	E. 1割~2割自己負担 だった	F. 2割以上自己負担 だった				
		83	6	4	17	1	7	0	0	0	

No.	設問文	項目名									
		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
21	今年度の発表にあたって困ったことはありましたか。	A. 今年度は現時点で発表を行っていない 75	B. 研究が思うように進まない 25	C. 日本語の論文が書けない 1	D. 英語の論文が書けない 1	E. 英語の質疑応答ができない 3	F. 旅費等の資金が無い 1	G. 特になし 12	H. その他 2	0	0
22	今年度の学会発表を行ってどのような感想がありますか。	A. 今年度は現時点で発表を行っていない 85	B. さまざまなコメントがもらえた 23	C. さまざまな人と知り合えた 2	D. 異国の文化を体験できた 1	E. もっと学会発表したくなった 6	F. もう学会発表したくない 2	1	0	0	0
23	在職やアルバイトの週当たりの出勤日数は平均何日ですか。	A. 5日以上 4	B. 4日 13	C. 3日 17	D. 2日 29	E. 1日 25	F. 当セメスタは勤務していない 32	0	0	0	0
24	在職やアルバイトの出勤日の勤務時間は平均何時間ですか。	A. フルタイム 14	B. 半日(午前のみ、午後のみなど) 27	C. 4~3時間 37	D. 3~2時間 6	E. 2~1時間 3	F. 1時間以内 5	G. 当セメスタは勤務していない 28	0	0	0
25	当セメスタのTA受け持ち授業は1週間に何科目(何分)ですか。	A. 5科目(約450分)以上 3	B. 4科目(約360分) 14	C. 3科目(約270分) 13	D. 2科目(約180分) 22	E. 1科目(約90分) 12	F. 当セメスタでは受け持ち無し 56	0	0	0	0
26	TA受け持ちは研究や授業に影響がありますか。	A. 影響は無く受け持ちを増やしても大丈夫 26	B. 影響は無いが受け持ちを増やしたくない 23	C. どちらともいえない 6	D. やや負担に感じるが受け持ちを減らさなくて大丈夫 9	E. 負担が多くて減らさないと影響がある 0	F. 当セメスタでは受け持ち無し 54	0	0	0	0
27	現在の仕事・職場は、大学院との両立は難しいですか。(※在職中の社会人で無い場合、Aを選択してください。アルバイトは除きます。)	A. 在職していない 101	B. 全く問題ない 4	C. ほぼ問題ない 6	D. どちらともいえない 5	E. やや難しい 1	F. とても難しい 0	0	0	0	0
28	大学院で学んでいることが、現在の仕事に役立っていたり、フィードバックされていますか。(※在職中の社会人で無い場合、Aを選択してください。アルバイトは除きます。)	A. 在職していない 106	B. とても役にたっている 2	C. 将来役に立つと思う 4	D. どちらともいえない 4	E. 将来役に立ちそうもない 0	F. ほとんど役に立たない 2	0	0	0	0
29	講義の時間以外に、授業(講義)科目(履修科目全部)のために一週間に平均してどれくらい勉強しましたか。	A. 2時間以上 69	B. 2~1時間 20	C. 1時間~30分 14	D. 30分以下 4	E. 特になかった 12	0	0	0	0	0
30	教員は意欲的に講義(履修した授業(講義)科目全般を通じて)を行っていましたか。	A. たいへん意欲的だった 73	B. どちらかといえば意欲的だった 31	C. どちらともいえない 13	D. どちらかといえば意欲的ではなかった 2	E. まったく意欲的ではなかった 0	0	0	0	0	0
31	講義(履修した授業(講義)科目全般を通じて)の進み具合は適切でしたか。	A. 非常に早かった 26	B. どちらかといえば早かった 17	C. 適切だった 75	D. どちらかといえば遅かった 1	E. 非常に遅かった 0	0	0	0	0	0
32	講義(履修した授業(講義)科目全般を通じて)の内容は理解できましたか。	A. 良く理解できた 43	B. だいたい理解できた 55	C. どちらともいえない 21	D. どちらかといえば理解できなかった 0	E. まったく理解できなかった 0	0	0	0	0	0
33	講義(履修した授業(講義)科目全般を通じて)を受講することで、知的満足感を得ることができましたか。	A. 大いに得られた 53	B. まずまず得られた 49	C. どちらともいえない 13	D. どちらかといえば得られなかった 3	E. まったく得られなかった 1	0	0	0	0	0
34	当セメスタの1週間の通学日数は何日ですか。(※学外研究に通う日数も合わせてカウント)	A. 週6~5日 47	B. 週4~3日 45	C. 週2~1日 27	D. 3~1科目 0	E. 当セメスタで授業(講義)科目は履修していない 0	0	0	0	0	0
35	当セメスタの履修科目数はいくつですか。(※授業(講義)科目のみ、演習(研究指導)科目を除く(※他研究科聴講、学部聴講含む))	A. 10科目以上 1	B. 9~7科目 1	C. 6~4科目 20	D. 3~1科目 59	E. もっと開講科目数を増やして欲しい 37	1	0	0	0	0
36	セメスタ(学期)あたりで履修できる科目数は満足ですか。(※授業(講義)科目のみ、演習(研究指導)科目を除く)	A. 現在の開講科目数が十分 65	B. 現在の開講科目数でまあ足りている 26	C. どちらともいえない 17	D. 現在の開講科目数は少ないと感じている 5	E. もっと開講科目数を増やして欲しい 6	0	0	0	0	0
37	強いて言えば、演習(輪講など研究指導)科目と授業(通常の講義)科目のどちらを重要視していますか。	A. 演習(輪講など研究指導)科目 108	B. 授業(通常の講義)科目 11	C. 企業に就職(研究職) 0	D. 企業に就職(職種問わず) 0	E. 公務員 0	F. 教員 0	G. 家業を継ぐ 0	H. 起業する 0	I. 現時点で未定 0	0
38	博士前期課程修了後の進路はどのようにお考えですか。	A. 本学博士後期課程に進学 3	B. 他大学博士後期課程に進学 3	C. 企業に就職(研究職) 40	D. 企業に就職(職種問わず) 53	E. 公務員 2	F. 教員 1	G. 家業を継ぐ 0	H. 起業する 0	I. 現時点で未定 15	0
39	現在の大学院に在学していることに対する満足度は総合的に考えてどれくらいですか。	A. とても満足している(100点) 18	B. 満足している(80点以上) 53	C. まあ満足している(70点以上) 26	D. どちらともいえない(60点以上) 12	E. あまり満足していない(40~59点) 6	F. どちらかという不満がある(20~39点) 0	G. 不満がある(0~19点) 2	0	0	0

2020年度 理工学・工学研究科「教育・研究等改善アンケート」結果(博士後期課程)

No.	設問	項目名									
		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	専攻を選択してください。	A. 理工学研究科機能システム	B. 理工学研究科生体医工学	C. 理工学研究科電気電子情報	D. 理工学研究科応用化学	E. 理工学研究科建築・都市デザイン	F. 理工学研究科機能システム				
		0	3	2	2	0	0				
2	学年を選択してください。	A. 1年生	B. 2年生	C. 3年生							
		2	0	5	0	0	0	0	0	0	
3	本研究科を志望された理由を1つ選択してください。	A. 研究内容にもともと関心を持っていたから	B. 研究科・専攻のシラバスを読んでみて面白そうだったから	C. 担当教員に教わりたから	D. 将来就職など役に立つと思ったから	E. 教員に勧められたから	F. 親に勧められたから	G. 先輩に勧められたから	H. 友達が進学するから	I. なんとなく	J. その他
		4	1	2	0	0	0	0	0	0	
4	大学院進学を考えるのにどのような情報が一番役立ったか、1つ選択してください。	A. 大学院ウェブサイト	B. 入試案内	C. 研究室教員の紹介	D. 学内掲示物	E. 就職支援室	F. 一般の本・雑誌	G. その他			
		1	1	3	0	0	0	2	0	0	
5	大学院進学を決めた(思い立った)のはいつですか。	A. 大学入学前	B. 学部1年	C. 学部2年	D. 学部3年	E. 学部4年	F. 大学卒業後	G. 修士1年	H. 修士2年	I. 修士修了後	
		1	0	0	2	2	1	0	0	0	
6	演習(輪講等)の時間以外に、当semesterでこの演習のために一週間に平均してどれくらい勉強しましたか。	A. 2時間以上	B. 2~1時間	C. 1時間~30分	D. 30分以下	E. 特にならない					
		1	0	0	2	1	1	0	0	2	
7	この演習(輪講等)は主にどのタイプの演習(輪講等)でしたか。	A. 非対面のみ	B. 対面と非対面の組み合わせ	C. 対面のみ							
		3	3	1	0	0	0	0	0	0	
8	この演習(輪講等)は7で選択したタイプの対応で適切でしたか。	A. 適切だった	B. どちらかといえば適切だった	C. どちらともいえない	D. どちらかといえば適切ではなかった	E. まったく適切ではなかった					
		4	2	1	0	0	0	0	0	0	
9	指導教員は意欲的に演習(輪講等)を指導していましたか。	A. たいへん意欲的だった	B. どちらかといえば意欲的だった	C. どちらともいえない	D. どちらかといえば意欲的ではなかった	E. まったく意欲的ではなかった					
		4	2	0	0	0	0	0	0	0	
10	指導教員は院生に演習(輪講等)への積極的な参加・発言を促していましたか。	A. 十分促していた	B. どちらかといえば促していた	C. どちらともいえない	D. どちらかといえば促していなかった	E. まったく促していなかった					
		4	2	1	0	0	0	0	0	0	
11	この演習(輪講等)は、教員や院生同士の意見交換、発表、討論等により、活発な演習だったと思いますか。	A. たいへん活発だった	B. どちらかといえば活発だった	C. どちらともいえない	D. どちらかといえば活発だった	E. まったく活発ではなかった					
		2	3	2	0	0	0	0	0	0	
12	この演習(輪講等)の進み具合は適切でしたか。	A. 非常に早かった	B. どちらかといえば早かった	C. 適切だった	D. どちらかといえば遅かった	E. 非常に遅かった					
		1	1	3	2	0	0	0	0	0	
13	この演習(輪講等)の内容は理解できましたか。	A. 良く理解できた	B. だいたい理解できた	C. どちらともいえない	D. あまり理解できなかった	E. 理解できなかった					
		3	4	0	0	0	0	0	0	0	
14	この演習(輪講等)に参加することで、何を一番身につけることが出来たと思いますか。	A. コミュニケーション能力	B. プレゼンテーション能力	C. 日本語の表現力	D. 調べ学ぶ能力	E. 文献の読解力	F. 専門的知識	G. 論文・報告書・レポートの作成能力	H. 基本的なものの見方・考え方	I. 特になし	
		1	1	0	1	1	1	1	1	0	
15	この演習(輪講等)に参加することで、知的満足感を得ることができましたか。	A. 大いに得られた	B. どちらかといえば得られた	C. どちらともいえない	D. どちらかといえば得られなかった	E. まったく得られなかった					
		4	2	0	1	0	0	0	0	0	
16	研究を進めるに当たり、研究室・実験室の実験機器やPC等は充実していますか。	A. 充実している	B. まあ充実している	C. どちらともいえない	D. どちらかといえば不足している	E. 不足している					
		4	1	1	1	0	0	0	0	0	
17	今年度の学会発表回数(ポスター発表含む)は何回ですか。(※本人が発表しない参加は除きます。)	A. 5回以上	B. 4回	C. 3回	D. 2回	E. 1回	F. 今年度は無し				
		0	1	0	0	3	3	0	0	0	
18	今年度の論文採録数は何本ですか。(※ファーストオーサー以外も含みます。投稿数ではありません。)	A. 3本以上	B. 2本	C. 1本	D. 今年度は無し						
		1	0	1	5	0	0	0	0	0	
19	今年度の学会発表・論文採録を通じて、受賞はありましたか。	A. 2回以上	B. 1回	C. 今年度はなし(発表や投稿をしていない場合も含む)							
		0	0	7	0	0	0	0	0	0	
20	研究発表奨励金で学会発表へ行った際、交通費と宿泊費と学会参加費を足した金額は奨励金で賄えましたか。	A. 今年度の現時点で奨励金制度を活用していない	B. 受給額の2割以上余った	C. 受給額の1割~2割余った	D. ほぼ同額(±1割以内)だった	E. 1割~2割自己負担だった	F. 2割以上自己負担だった				
		3	0	0	3	0	1	0	0	0	
21	今年度の発表にあたって困ったことはありましたか。	A. 今年度は現時点で発表を行っていない	B. 研究が思うように進まない	C. 日本語の論文が書けない	D. 英語の論文が書けない	E. 英語の質疑応答ができない	F. 旅費等の資金が無い	G. 特になし	H. その他		
		2	0	1	1	3	0	0	0	0	
22	今年度の学会発表を行ってどのような感想がありますか。	A. 今年度は現時点で発表を行っていない	B. ささまざまなコメントがもたらされた	C. ささまざまな人と知り合えた	D. 異国の文化を体験できた	E. もっと学会発表したくなった	F. もう学会発表したくない				
		4	2	0	0	1	0	0	0	0	
23	在職やアルバイトの週当たりの出勤日数は平均何日ですか。	A. 5日以上	B. 4日	C. 3日	D. 2日	E. 1日	F. 当semesterは勤務していない				
		1	1	1	2	0	2	0	0	0	
24	在職やアルバイトの出勤日の勤務時間は平均何時間ですか。	A. フルタイム	B. 半日(午前のみ、午後のみなど)	C. 4~3時間	D. 3~2時間	E. 2~1時間	F. 1時間以内	G. 当semesterは勤務していない			
		3	0	2	0	0	0	2	0	0	

No.	設問	項目名									
		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
25	当セメスタのTA受け持ち授業は1週間に何科目(何分)ですか。	A. 5科目(約450分)以上	B. 4科目(約360分)	C. 3科目(約270分)	D. 2科目(約180分)	E. 1科目(約90分)	F. 当セメスタでは受け持ち無し				
		0	2	0	0	1	4	0	0	0	0
26	TA受け持ちは研究や授業に影響がありますか。	A. 影響は無く受け持ちを増やしても大丈夫	B. 影響は無いが受け持ちを増やしたくない	C. どちらともいえない	D. やや負担に感じるが受け持ちを減らさないで大丈夫	E. 負担が多くて減らさないと影響がある	F. 当セメスタでは受け持ち無し				
		1	1	1	0	0	4	0	0	0	0
27	現在の仕事・職場は、大学院との両立は難しいですか。(※在職中の社会人で無い場合、Aを選択してください。アルバイトは除きます。)	A. 在職していない	B. 全く問題ない	C. ほぼ問題ない	D. どちらともいえない	E. やや難しい	F. とても難しい				
		5	1	0	0	1	0	0	0	0	0
28	大学院で学んでいることが、現在の仕事に役立っていたり、フィードバックされていますか。(※在職中の社会人で無い場合、Aを選択してください。アルバイトは除きます。)	A. 在職していない	B. とても役にたっている	C. 将来役に立つと思う	D. どちらともいえない	E. 将来役に立ちそうもない	F. ほとんど役に立たない				
		5	0	1	1	0	0	0	0	0	0
29	博士後期課程修了後の進路はどのようにお考えですか。	A. 大学講師	B. 大学非常勤講師	C. 企業に就職(研究職)、既に在職中	D. 企業に就職(研究職以外)、既に在職中	E. 公務員	F. 教員	G. 家業を継ぐ	H. 起業する	I. ポスドク	J. 現時点で未定
		2	0	0	1	0	0	0	0	1	3
30	現在の大学院に在学していることに対する満足度は総合的に考えてどれくらいですか。	A. とても満足している(100点)	B. 満足している(80点以上)	C. まあ満足している(70点以上)	D. どちらともいえない(60点以上)	E. あまり満足していない(40~59点)	F. どちらかというと不満がある(20~39点)	G. 不満がある(0~19点)			
		2	2	3	0	0	0	0	0	0	0